

2018年8月号
Vol. 34

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail kikaku@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
Facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<http://www.cbs.or.jp/>



千葉県少年少女オーケストラ、サントリーホールで東京公演!

2019年3月24日(日)、サントリーホールで東京公演を実施することになりました。サントリーホールは、「世界一美しい響きのホール」をコンセプトに、客席はブドウ畑をイメージし、舞台を囲んで配置する、「ワインヤード方式」のつくりになっています。この日本を代表するホールでの自主公演を、指揮者の井上道義氏、ピアニストの小曾根真氏との共演のもと開催します。井上道義氏からコメントをいただきましたので紹介します。



井上道義
(c)OrchestraEnsembleKanazawa

千葉県少年少女オーケストラは世界的トップレベル（むしろ日本で一番）。音楽監督である佐治薫子さんの「さじ加減」でこのレベルになり、そのままの水準を20年以上維持している。
ユースと言っても他のそれは、15歳から35歳ぐらいまでいる場合もある。ここは10歳から20歳! 20歳で定年だぞ! 井上の師匠である齋藤秀雄先生は、男だったせいか信じられないが、今の私の年である72歳で亡くなっている。佐治さんは齋藤先生よりも不死身で、どこかで私の母に似ていて、病気にならない（なってもなっていない振りが出る!）人を鼓舞する才能が凄い。名前をちゃんと覚える。言うべきことははっきり言う。着るものの趣味も・・・これは多少違うか。
このオーケストラの子供たちのお陰で、若い血を吸って吸血鬼のように生き返っているのは道義だけではない。今回ホール一杯のお客さん一人ひとりも同じで、特に「やってみなはれ!」の佐治敬三さんのことに想いを馳せることだろう! 井上道義

井上道義氏と千葉県少年少女オーケストラ

井上道義氏とは今から20年前の第3回定期演奏会を指揮していただいて以来、これまでに16回共演しています。

定期演奏会や国内での演奏会はもとより、2004年の韓国公演、2009年のヨーロッパ公演など、あらゆる面で千葉県少年少女オーケストラをずっと応援してくださっています。



第21回定期演奏会(2017年3月26日)

千葉県少年少女オーケストラ 東京公演

日時: 2019年3月24日(日) 14:00 開演 会場: サントリーホール 大ホール
指揮: 井上道義 ピアノ: 小曾根真 音楽監督: 佐治薫子
曲目: ショスタコーヴィチ/交響曲 第1番 へ短調 Op. 10
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K. 271 「ジュノーム」
伊福部昭/管絃楽のための「日本組曲」から「盆踊」「七夕」「佞武多」
入場料: 全席指定 一般 3,000円、学生 2,000円



小曾根真
(c)大杉 隼平

第23回定期演奏会

日時: 2019年3月30日(土) 14:00 開演 会場: 千葉県文化会館 大ホール
入場料: 全席指定 1,000円 ※指揮・ピアノ・曲目は東京公演と同じ

千葉県文化振興財団では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた機運醸成を図るために、主催事業を「参画プログラム」および「beyond2020プログラム」認証事業として実施しています。千葉県少年少女オーケストラ東京公演は、東京2020オフィシャルパートナーのキックマン株式会社の協賛のもと、参画プログラムにおける「公認文化オリンピック」認証事業です。千葉県の少年少女たちが奏でるハーモニーを世界へと発信する文化プログラムとなるように取り組んでいきます。

千葉県文化会館では、西側玄関前の広場に新たにベンチを増設いたしました。

開放感のある西側広場は絶好の日当たりと心地よい風が吹く、憩いのスペースとしてもご利用いただいています。春から夏にかけては満開の桜や新緑、秋には紅葉を経て枝いっぱい実がなったりと、四季折々の姿を見せてくれるのも魅力の一つです。

また、東側玄関では朝顔によるグリーンカーテンにも取り組んでいます。まだまだ夏真っ盛りですが、自然の力を借りて快適な空間づくりに励んでいます。

開場前や休憩などのお時間だけでなく、文化会館にお立ち寄りの際にも憩いのひと時を是非お楽しみください。千葉県文化会館では引き続き、ご来場のお客様にご満足いただけるような取り組みを行なってまいります。



『アイダ』で味わうオペラの魅力

千葉県東総文化会館

今年度の「東総オペラ・ガラコンサート」はヴェルディ作曲、歌劇『アイダ』をお届けします。古代エジプトを舞台にした世界中で最も上演されているオペラの一つです。

『アイダ』といえば、なんととっても有名なのが「凱旋行進曲」でしょう。トランペットの力強いモチーフに始まり大合唱が爆発するように響きわたるこの曲は、サッカーの応援歌としても使われているとても馴染みのある曲です。将軍ラダメスが戦争に勝利し軍勢を率いてエジプトに凱旋するこのシーンは、いかにも壮大なオペラのイメージが味わえます。

エジプトや凱旋などがキーワードのスペクタクル・オペラですが、登場人物それぞれの感情が繊細に描かれている細やかな感情描写も見逃せません。特にアイダとラダメスの二重唱やラストシーンなどは、静かで美しい心の行き交いが感じられ、痛切な思いに胸を打たれることでしょう。

平成30年12月23日（日祝）に本番を迎える「東総オペラ・ガラコンサート」の参加者を只今募集中です。ちば県民合唱団にご登録いただければ、どなたでも参加できます。この機会にぜひお申込みいただき、オペラの世界を楽しんでみませんか？



「東総オペラ・ガラコンサート」
ドニゼッティ：歌劇『愛の妙薬』より（2016年3月6日）

文化芸術を身近な場所に

千葉県文化会館・千葉県東総文化会館

千葉県文化振興財団では、県民の皆様をはじめ、県外の方、来日外国人など様々な方を対象に、気軽に文化芸術に触れていただくため、多彩なアウトリーチ事業を展開しています。

幼児を対象にした『オーケストラとあそぼう！』は、園児が安心して鑑賞できるよう普段生活している幼稚園やこども園を会場に、演奏のほかに楽器の紹介や一緒に歌ったり、体を動かしたりと楽しく音楽に触れるひと時を提供しています。

成田国際空港出発ロビーで実施しているコンサートでは、千葉県出身のアーティストによるクラシックや邦楽の演奏会を実施しています。英語による通訳やプログラムを用意し、帰国する海外の方に日本の最後の思い出としてお届けしています。

この他にも、日本遺産に認定された「北総四都市江戸紀行」の舞台となっている佐倉市、成田市、香取市、銚子市を会場に開催する公演など、商業施設や公共施設と連携し様々なジャンルの事業を展開し、文化芸術をより身近なものに感じていただけるよう努めています。

アウトリーチ事業以外にもワークショップなど、多くの方々に様々な文化芸術に触れる機会を提供しています。



編集後記

東京2020オリンピック・パラリンピックまで、あと2年を切りました。オリンピックはスポーツだけでなく文化の祭典ともいわれています。文化芸術の力で機運醸成を図り、皆さんと一緒に大会を盛り上げて行ければと思います。